

セトラ通信

理事長 今月の一言++

長い梅雨が明けたと思ったら、いきなり真夏になってしまいましたね。昼間は冷房のない所には居られません。体調が心配です。皆さんもお気を付けて。

最近の私は、毎週水曜日が映画デイになっています。今までに「告白」「アイアンマン2」「プレデターズ」「トイ・ストーリー3」を観ました。私の趣味として一番期待していたのはアイアンマンだったのですが、期待が大きすぎたのか不発。面白かったのは「告白」と「トイ・ストーリー3」でした。どちらもお勧めです。次は「借りぐらしのアリエッティ」と「インセプション」を予定しています。楽しみ！

ただ残念なのは、この中心部から映画館が次々に消えていること。以前は映画を観に来るのが、中心部に出掛ける動機付けの一つだったのに、それが無くなるのは中心部を盛り上げる上で大きなマイナスです。

なんとかもう一度、中心部に映画のともしびを！！

と思っていたら、非常にうれしい知らせが舞い込んできました。昨年初めて広島で開催された『ダマー映画祭』が今年も開催され、そのメイン会場がこの中心部になるというのです！昨年閉館した福屋の上の「東洋座・名画座」をサロンシネマの蔵本さんが再構築され再び映画館として蘇り、そのこけら落としを兼ねて、ダマー映画祭を開催しようという訳です。

ダマー映画祭はこちらを参照 <http://www.damah.jp/home.html>

ダマーを主催しているのは広島出身の日本を代表する映画美術監督の部谷京子さん。昨年、偶然に知り合いになり、特撮繋がりですっかり意気投合しまして、昨年も少しだけお手伝いしたのですが、今年は会場が中心部のど真ん中なので、商店街やセトラともコラボして何か面白いことができないかと今からワクワクしております。この中心部を、いや広島全体を盛り上げるためにも、このダマー映画祭を広島の新たな大型イベントとして育てて定着させようではありませんか！

皆さんも是非一緒に何かやりましょう。

それでは今月も話題満載のセトラ通信をご覧ください。 (NPO法人セトラひろしま理事長 若狭 利康)

..... <目次>

- 【1】グリーンプロジェクト NOW
- 【2】アリスガーデンパフォーマンス広場 AH! NOW
- 【3】インディケットひろしま2010 NOW
- 【4】紙屋町応援プロジェクト！「ひろしまアートパークかみやちょう」
- 【5】Art Life Support Project
- 【6】「明日の広場」～まちなか - 文化交流プロジェクト
- 【7】まちなか - 子育て支援&こどもイキイキ環境づくりプロジェクト
- 【8】地域環境プロジェクト NOW

【1】グリーンプロジェクト NOW

おとしの2008年、アリスガーデンのトランプオブジェに誘引用ネットを張り、オーシャンブルーを這わせてグリーンのカーテンを作りました。アリスガーデンはご存知のごとく、真夏には真っ白に太陽が照り返して、ヒートアイランドそのものになる典型的な都心の広場です。これを少しでも緩和できないかとの植物の力を使った緑化実験でした。今年も再挑戦します。7月15日木曜に、ネットをトランプ3枚に設置しました。今年は、ゴウヤ、フウセンカズラ、ルコウソウなどやさしいつる性の植物を育ててみます。今回もほんの少しの緑カーテンづくりですが、本来はもっと基本のところから都心広場のあり様を考えていく必要があると、とみに感じています。夏の季節をホットした気持ちで過ごせる緑広場、そこに水やミスト風が流れていたらもっとイイですね！！ (報告：はしもとまちこ)

グリーンプロジェクト

活動報告

定期活動

アリスガ - デン

6月17日(木) アリスガ - デンの花壇等のメンテナンス

10:00 ~ 12:00

参加者：あおぎり2名、中電ボランティア2名、スタッフ5名 合計9名

作業内容：花がら摘み、除草、手入れ

かん水 清掃活動

その他

6月3日(木)・10日(木)・24日(木) 9:00~11:00

作業内容: 定期活動では手がまわりにくく植物の手入れ

活動予定

定期活動

アリスガ-デン: 毎月第3木曜日 集合9:45~12:00 少雨・実施しています。

アリスガーデン 花の景観づくり & 美化活動

どなたでもボランティア自由参加です。当日アリスガーデンに集合ください。

(個人準備; 帽子、タオル、飲料水、あればスコップ、軍手など 冬は暖かい服装で、風邪をひかないように...)

ソ-シャルガ-デナー-倶楽部

街のあちこちで七夕飾りが風に揺れています。今年はどのような願い事を託されましたか?
ゲリラ豪雨・大相撲野球賭博問題・消費税・参院選と悶々とした社会問題がこのじめじめした梅雨に拍車を掛けているよう
です。
平和大通りには、夾竹桃の花が咲き始めました。8月6日が近づいていることを気づかされる景色です。もう7月半ば、
1年を振り返ってしまいました。時間の経つ速さに驚かされますね。

活動報告

6月 9日(水) 10:00~ デザインコンテナの植え替え ジニア3色
交流プラザ周辺の草取りを中心に手入れ
ハンギングの手入れ(液肥やり)
こげ鉢(袋町小学校の児童との共同活動)のパンジーの色決め

活動予定

7月14日(水) 交流プラザ周辺の手入れ、サークル花壇の手入れ
8月 4日(水) 交流プラザ周辺の手入れ
9月 1日(水) パンジーの種まき作業

* ソーシャルガーデナー倶楽部会員募集! *
“いっしょに、グリーンと花の街づくり! 家庭園芸から社会園芸へ!”
会費: 1,000円(年)

【2】アリスガーデンパフォーマンス広場 AH! NOW

AH!とは「Alice Hiroshima!」の略で、アリスガーデンパフォーマンス広場として活動しています。

広島の「へそ」アリスガーデンで音楽ライブ、ライブペインティングなどのパフォーマンスを提供し、賑わいの創出を目指します。また、お子様連れのご家族が休憩できる「親子休憩所」や「子どもの遊び場」も展開し、都心の憩いの場づくりも目指します。

7月18日のALICE PASSIONのレポート

7月も半ばにさしかかり段々と暑くなってきました。熱気あふれる中たくさんの方が足を止めて下さり感謝感謝です🌟
今回出演していただいたアーティストの皆さんやブースの様子をを紹介します。



《アーキーオーケストラさん》 / 《ライブペインティング by blue-lab - くまさん》



《藤田洋平さん》



《Dream on さん》 / 《ボサノババンド Blueberry Shortcake さん》



《森恵さん》 / 《エルコンポデラバスさん》



《子育て応援ブース》

こども達がシャボン玉で遊んでいる姿にとても和んだ...!

夕方小雨がちらついたのですがステージから発せられる PASSION で乗り切ることができました!

次回は8月21(土)に開催します。皆さまのお越しをお待ちしております♪ (報告:小川遥-NEW FACE!)

次回のアリスガーデンパフォーマンス広場 AH!

AH! PRESENTS “アリス・アニメナイト”

都会のど真ん中で夕涼みアニメ上映!

2010年8月21日(土) Hiroshima Alice Garden

共催: Haby クラブ

協賛: ステージユニオン広島

ステージ

15:00 ~ 18:00

ライブペインティング&広島インディーズによるライブステージなど

19:00 ~ 22:00 頃

『アリスG(が)DE アニメナイト』 presented by Haby クラブ

「2010ひろしま街じゅうアニメーションで賞」表彰式・

市民による応募作品上映!

ブース・コーナー展開
・ライブペインティング by Blue lab.

AH!の最新情報は、AH!公式ブログ・「AH!情報局」をご覧ください!
<http://ahinfo.blog39.fc2.com/>

【3】インディケットひろしま2010 NOW

今年も INDIKET 開催決定！エントリーアーティスト募集中！

2010年10月16日(土)、17日(日) 開催

(ローカルなコンテンツ創造が街の活性化に！)

そもそも中心市街地(繁華街)の魅力とは何だろう。それは、来街者の多様な感性を受け入れるに足る懐の大きさや深さにあり、それは郊外型大規模商業文化施設等では決して真似のできない魅力である。

繁華街が発信するイメージや雰囲気またシンボルといったもの...そういったものに人々は引き寄せられるのである。まさにそれは街が本来持ち、また将来付加すべき「感性価値」である。感性価値の発信こそ繁華街の魅力であり、それは畢竟、不断に継承される地域文化創造の領域に関わっている。

インターネットやITの本格的普及によって、文化的コンテンツの流通は世界的な大変革期を向かえており、メジャー文化産業が席卷した画一的な文化状況は過ぎ去りつつあり、今こそ、地域(ローカル)の多様で魅力的な文化コンテンツ創造が問われている。次代の新しい文化スタイルを担うのは「インディーズ」である。「INDIKET」は広島インディーズアートの「ショーケース」として広島インディーズ文化の今を発信するとともに、元気で魅力的な街づくりを発信する強力なコンテンツとなる。

日時：2010年10月16日(土)・17日(日)2日開催 12:00~20:00

会場：中区 アリスガーデン

EVEVT CONTENTS

アートマーケット：自主制作作品(CD、DVD、アートグッズ・アパレル作品等)

プレゼンテーション・ライブ

各賞の授与(INDIKET AWARD): RCC ラジオ番組出演権、コンピューレーションアルバム・エントリー権ほか

参加アーティストの募集しています！

応募条件：当日会場にて、自作作品の販売やプロモーションができる人。ジャンルを問わない！！

エントリーは3部門。

《A》音楽系エントリー<ブース出店+プロモーション・ライブ>

*プロモーション・ライブ：持ち時間25分(募集約18組)

《B》ダンス・パフォーマンス系エントリー

<ブース出店+プロモーション・ライブ>

*プロモーション・ステージ：持ち時間10分(募集約10組)

《C》アート系エントリー<ブース出店>参加

アート・クラフト・アパレル作品等のブース出店のみの参加。

*原則2日間(募集約20組)

ライブステージの模様~RCCの特設サイトで動画配信決定！

インディケットひろしま2010!の最新情報は、公式サイトをご覧ください!

PC：<http://www.rcc.net/indiket/>

Mobile：<http://www.rcc.net/indiket/m/>

【4】紙屋町応援プロジェクト！「ひろしまアートパークかみやちょう」

セトラひろしまも応援しています！

ひろしまアートパークかみやちょう

ビルの中に出現した公園！熱い交流続行中！

アーバン BLD 紙屋町 4階 / 本通り沿いサンモールななめ向かい / 広島市中区紙屋町 2-3-20
(通称：HAPKUN ハップクン)

期日 OPEN：2010年8月29日(日) まで 11:00～19:00

常設企画

- ・ひろしまのざっかてん(チャリティワンデーオーナーショップ)
- ・遊び場～公園遊具展示いろいろ

主催：ひろしまアートパークかみやちょう 共催：NPO法人アートプラットホームG

協力：グランドアメニティ・広島リビング新聞社・NPO法人セトラひろしま・広島文化会議準備会
広島アキハバラ塾

お問い合わせ：ひろしまアートパークかみやちょう事務局(NPO法人アートプラットホームG内)
082-211-3260 gg@gallery-g.jp

特別企画

ART FAIR 紙屋町 2010

7.31(土)～8.29日 11am～7pm

作家たちはこの夏、どこまで空間をアートできるか!? 前代未聞のぶっとびチャレンジ!

オープニングイベント(7.31, 8.1)

- ・20数名の作家による展示・作品販売。
- ・ライブペインティング(1pmより):作家たちが10mの壁や床にペインティング!+ライブ演奏

期間中参加アーティスト随時募集!

お問い合わせ：住野 080-3449-3749

トーク・展示・上映会～『デュラスの足跡、被爆樹の傷跡』

広島初公開の二本の貴重なドキュメンタリー上映と、ヴェネチアビエンナーレ...のトークから、
広島からヒロシマへの再生の希望をさがす

8月22日(日) 18:30 OPEN 19:00 START

19:30 『エビオニーム』上映

20:00 トークライブ(岡部昌生・宮岡秀行)

20:50 『マルグリット・デュラス あるがままの彼女』上映

*岡部昌生 - 被爆樹のフロタージュ作品展示

参加料：無料(投げ銭歓迎)

主催：NPO法人アートプラットホームG

協力：広島文化会議準備会・NPO法人セトラひろしま

お問い合わせ：082-211-3260(ギャラリーG)

special thanks!! : studio malapaete

<http://www009.upp.so-net.ne.jp/malapaete/>

『マルグリット・デュラス あるがままの彼女 Marguerite,telle qu'en elle-meme』

2002年/フランス/60分/日本語字幕入り with English subtitles

監督・編集：ドミニク・オーヴレイ 音楽：ジャンヌ・バリバール 出演：マルグリット・デュラス

デュラスのドキュメンタリー映画の決定版。世界の破壊や貧困について、決定的な発言をするあるがままのデュラスに、『ヒロシマ・モナムール』の源流が見える。

『エビオニム ebionim』

2008年/日本/30分 with English subtitles 監督・編集：宮岡秀行 音楽：鈴木治行 出演：岡部昌生
美術家の岡部昌生が広島に被爆樹をフロッタージュ（擦り取り）している姿を、淡々と映し出した短篇。

【5】Art Life Support Project

Art Life Support Project

サイトをご覧ください！ <http://artlifesupport.com/>

まちづくりを中心に活動している「セトラひろしま」とアートを中心に活動する「アートプラットフォームG」。二つのNPO法人が共同で展開していく「まちづくり」と「アート」の融合。それが「Art Life Support」です。皆様にもっと身近にアートを感じていただけるよう、色々な企画をご用意してまいります。

アート・グルメな講座シリーズ～会場は“まちなか”です。

「まちなか」で活躍する各界のクリエイターたちが、サポートアドバイザーとなって、企画づくりをしていきます。

『まちなか Art&Eat』

ただ今、参加者募集中の講座・企画

日時：8月4日(水) 19:00～21:00

会場：『ひろしまアートパークかみやちょう』（通称：HAPKUN）

（アーバン BLD 紙屋町4階 / 本通り沿いサンモールななめ向かい / 広島市中区紙屋町2-3-20）

講師：MAYA MAXX

会費：2,500円

定員：定員25名程度

インターネットでお申し込みの方は

http://www.artlifesupport.com/art_schedule.html

をご覧ください。

まちなか Art&Eat REPORT



【講座データ】

『ものづくりのインスピレーション Vol.2』

ゲスト：高野友美(陶芸) + 原田美貴(植物) × 長束晃(写真家)

開催日：2010年7月5日(月)19:00～21:00

会場：会場：ギャラリーG（広島市中区上八丁堀4 - 1 公開空地内）

講師：ゲスト：高野友美（陶芸）+原田美貴（植物）×聞き手：長束晃（写真家）

【レポート】

7.6 からギャラリーGにて展覧会をされた陶芸家の高野友美さんとフラワーデザイナーの原田美貴さんをお招きし、前回、ご好評をいただいた長束さんを聞き手としての第2弾、陶芸と植物の写真を撮る側の視点から掘り下げたお話を聞いていただきました。

問い合わせ：Art Life Support Project 企画室（NPO 法人セトラひろしま内）082 - 545 - 7611

.....

【6】「明日の広場」～まちなか - 文化交流プロジェクト

～ 広島で行われたある国際文化交流イベントで感じたこと～

国際文化交流イベントスタイル論

先日、アフリカのある国のミュージシャンとダンサーを迎えて、あるNPOが主催した平和文化国際交流関係のイベントに参加した。平和文化国際交流関係と書いたが、この種のイベントは...と一括りに言ってしまうのは悪いかも知れないが...広島では「平和文化国際交流」というイベント・ジャンルが成立していると思われるくらいよく行われる類のイベントである...なにせ国際文化平和都市を標榜し、「平和文化センター」を中核に「平和文化」を推進している都市だから。

なにもケチをつけいるのではなく、それも他の都市にはない広島の特異性であり積極的にやればよいと思う。事実、参加したくだんのイベントも僕は実に有意義な時間を過ごしたと感じた。

ではそのイベントについて少しレポートしよう。イベントの基本的な構造として、国際交流というくらいだから、ゲストとホスト...この場合、アフリカのアーティストたちと広島側のメンバー（語り部の被爆者の方やNPOの活動家など）の間に、相互に「語り」や「メッセージ」の交換があり、そして「文化」の交換が行われる。このイベントの場合でも、最初、日本側のミュージシャンとこども合唱団によるウエルカムがあり、ゲストが紹介される。イベントの前半は、ゲストとホスト、お互いが体験を語り合うことで共感を醸成し、共通の課題を発見していくというシーンである。そして後半は、それぞれのバックボーンであるカルチャーを際だてながらも、イベントの趣旨にうまく合致した音楽やダンスなどの表現演目が選ばれ交換される。この場合、アフリカのある国で起こった大量虐殺を体験し自暴自棄になった主人公のシンガーソングライターが、数年たって「赦し」の自覚によって甦り、創作活動を再開して誕生した曲をメインに、民族的な唄とダンス（これには本当に感動した！）を組み合わせた...真面目だが極めて人を楽しませるライブと、広島側からは、小学生による素晴らしい合唱のプレゼントであった。個人的な趣味で言えば僕は合唱、特に西洋近代音楽的な文脈...つまりハイカルチャーとしてある合唱はあまり好きでないが...この場合、イベントに趣旨にふさわしく正当に選曲された合唱作品を、実によく訓練され、微細で真摯な表現で聴くことができ幸運であった。このようなまるで歌垣（うたがき）のようなカルチャーの応答交換...ここまでは上手いき会場は盛り上がりハッピーであった。問題は「結び」の部分、最後のパートであった。

会の最後に、会場の全員で、ある「平和の歌」を歌おうというのである。たぶんこのイベントの総仕上げとして、ある一致した理念や感情また意志の予定調和的な共有のために会場全員で共同作業を行おうという意図であろうが、これが正直うとうとしかった。

歌のメッセージは、他人への思いやりやシンパシーから笑顔を伝え平和を願うというものであった。それ自体に文句はないのだが、表現がメッセージのためのメッセージとなっていると僕には感じられた。メッセージが絞り出され、必然的にそこから表出されるところの実体や身体が感じられない。そこにあるのは要するに具体的な「生」の背景が切り捨てられた虚ろな身体（普遍的言説空間）であり、それは実存在としての多様な人々の共感や感情移入を受け止めることができないのである。

広島地では、これまでこういった機会でも、善意ではあるが、こうした少し傲慢で押しつけがましい紋切り型の「絶対的正しさ」を強要されて息苦しくなるケースはよくある話である。事実、多くの人は、それまでの自由闊達で上気した高揚感と多様な息づかいを失い（あのアフリカ・ダンスのせつかくの根源的かつしなやかでデリケートな息づかいも台無し！）急に仮面のような表情となって単調な身振りでメッセージをただ鸚鵡返ししている...「ヒロシマ」が要請する国際文化交流

のスタイルはこんなものだろうか？否、今こそもっと洗練された配慮が欲しいものである。

『平和学』における基本行動規範のひとつに、状況の中へ身をさらす行為という意味で exposure という言葉がある。これからの国際文化交流のスタイル...それは、世界の各地域、各民族のさまざまなバックボーンを担う人びとが、ある状況を共有しつつ、互いの差異を尊重しながらも自らを exposure し、相互に影響を受けながら生まれる新しい関係性のもと協働し、新たな状況を創造する活動スタイルであろう。

確かに「地球化社会」では、ある普遍的世界システムの構築や共有なしにはありえないだろう。だからといって、人びとの日常の生すべてが同質な一極普遍システムに吸収されれば良いという議論は危険で、たぶんそんなことを「ヒロシマ」は要請していない。

平和をめぐる言説や表現が、生きとし生けるものの固有性を曖昧とさせることなく、誇らしくも輝かしい「生」の上にこそ成り立つということを望む。

くどいようだが、上記はくだんのイベントについての苦言では決してない。惜しむらくは...というため息みたいなものである。事実、イベントの内容は大筋において納得のいけるものであり、感動的ともいえるものであった。その点、主催者の尽力に敬意をささげるものである。(文責：石丸良道・NPO 法人セトラひろしま副理事長)

【7】まちなか - 子育て支援&こどもイキイキ環境づくりプロジェクト

セトラひろしまが参画する新しいプロジェクトです！

(1) 冒険遊び場づくりモデル事業

「中央公園きらきらプレーパーク・プロジェクト(仮称)」

中央公園に冒険遊び場的なプレーパークをつくらうという広島市こども未来局のプロジェクトです。

初年度にあたる今年度事業では、継続的な事業展開をにらみ、「遊び場」の実験イベントの開催や、協働のネットワークづくりによる「ソフト形成」を目指し、将来ビジョンを探ります。

「冒険遊び場実験イベント」の実施

11月の2日展開(予定) 中央公園にて

*7月12日には、現地ロケハンと、地元基町地域のみなさまや、こどもの遊び場環境を考えるさまざまな方々が集まり、第1回の意見交換会が開催されました。



《ロケハンの様子》

「冒険遊び場」とは？

こどもの「何かやってみたい」という思いを尊重する、いままでの公園にあるような「～をしてはいけない」という禁止事項を極力なくした遊び場です。

それは、「木登りやロープ渡り、火を使うという冒険的な要素がある場所」という物理的なこと以上に、おとなからの指

図や干渉、指導、禁止を受けない、こどもがやりたいことができる場所なのです。

自由になんでもできる場にするためには何が起ころうと自分で責任を持つことが必要です。そこでプレーパークは「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーとしています。

もともとは、1943年にデンマークで生まれた、廃材を用意した「廃材遊び場」から始まり、50年～70年代を中心にヨーロッパ中に広がりました。79年、世田谷区・羽根木公園に日本で初めて常設の「プレーパーク（冒険遊び場）」が誕生し、現在、国内には200カ所以上ものプレーパークがあります。

またプレーパークは、常設の施設を拠点に日常展開するもの、定期的・イベント的に展開するものなどありますが、基本的に「プレイリーダーのいる遊び場です。」

プレイリーダーというおとながこどもの遊びを見守ることで、様々な冒険的な遊び、創造的・発明的な遊びが発見できる可能性があるかもしれません。

ここでは、遊びはこどもたち自身が考え、創っていくもの、という考えから、おとなは遊びの指導を行うことはあまりありません。

見守ることを第一に、時には相談にのったり、こどもと一緒に考え、一緒に遊ぶという立場です。

(2) 旧日銀をあそぼう！～みんなでつくるワクワク空間～

こどもスタッフが旧日銀の空間を、楽しくどう活かすか考えます。

こどもスタッフまだまだ募集しています！！

日時：2010年11月14日(日)10:30～15:00

場所：旧日本銀行広島支店

主催：子どもの参画を応援する実行委員会《構成団体》広島市、NPO法人コミュニティーネットひろしま、子育て応援ネットワーク子育ておたがいさま～ズ、NPO法人ひろしまチャイルドライン子どもステーション、NPO法人子どもネットワーク部、NPO法人セトラひろしま（順不同）

お問い合わせ：NPO法人コミュニティーネットひろしま 082-511-0004

【8】地域環境プロジェクト NOW

袋町公園の美化活動も6月末で累計217回、6年目に入りました。間もなく夏本番を迎えますが暑さに負けず頑張っていきたいですね。今回は夏バテ対策として、シソ（紫蘇）のデータをお送りします。

和風ハーブともいわれる「シソ」。口の中をさっぱりとさせ、その香りは食欲の落ちる夏の薬味としてぴったりです。

シソは大きく分けると、本来の種である赤シソと変種である青シソに分類され、葉だけでなく、芽や花、実まで食べられるのも特徴です。「薬味」としては香りの成分ペリルアルデヒドの中に殺菌・防腐力を、「野菜」としてはベータカロチンやカルシウム、ビタミンなどを豊富に含むという、優等生です。

シソは中国から伝わったとされ、縄文時代の遺跡から出土例もあるなど古来より日本でも重宝されてきました。なぜ「紫蘇」という名になったのかについては、カニを食べた少年が食中毒になり顔色が紫になったところへ旅の名医が与えたシソの葉で命が蘇ったことから、という逸話が由来とか。いかにも健康ハーブのシソらしいエピソードです。

薬味として使う時のポイントは、できるだけ細かく刻むこと。こうすることで香りが引き出されるからです。また鮮度が落ちると香りがなくなるため、早めに使うことが一番ですが、保存する際は、水でぬらしたキッチンペーパーに一枚ずつはさんで密閉容器に入れましょう。

ここ数年、シソジュースや焼酎人気も高まっています。さらに今年は大手飲料メーカーが夏季限定でシソテイストの炭酸飲料を発売したことも話題になりました。古くて新しいシソ。夏の暑さをシソパワーで元気に乗り切りましょう。

参考：青紫蘇農場株式会社 <http://www.shiso.net/>

おいしいねっと <http://www.o-e-c.net/>

薬味のチカラ <http://www.yakumi-power.net/>

緑黄色野菜大百科 <http://info1.mods.jp/>

サントリーホールディングス株式会社 <http://www.suntory.co.jp/>

(本山)

活動報告（6月）

袋町公園美化・定期活動 活動は計4回、花壇の手入れやゴミの収集、清掃を行いました。（参加者合計39名）
道の里親制度 袋町公園周辺市道の清掃活動を4回行いました。
並木通り美化活動 ロータリー花壇の雑草の除去をおこないました。

活動予定（7月・8月）

袋町公園美化活動（公園の清掃と除草、花壇の手入れ・周辺市道の清掃） 活動時間10:00～11:00

日時&場所：毎週木曜日 10時 袋町公園集合

7月 1日、8日、15日、22日、29日

8月 5日、12日、19日、26日

ホームページ <http://www.cetra.jp/npo/>

AH! 公式ブログ <http://ahinfo.blog39.fc2.com/>

* 会員のみなさまへ！*

現在の会員数： 正会員 33人 協力会員 47人

会員の仲間を募っています。

正会員1口：5,000円 協力会員1口：1,000円 現在キャンペーン中！入会金なんと免除！

「セトラ通信」編集部

〒730-0037 広島市中区中町1-27 久保広ハイツ7F e mail: office-npo@cetra.jp

Copyright(C)2005 NPO CETRA HIROSHIMA All rights reserved.

NPO法人セトラひろしまのウェブサイト

<http://www.cetra.jp/npo/>

広島市中央部商店街振興組合連合会のサイト

<http://www.chushinren.jp/>

Save the earth

<http://pr.mail.yahoo.co.jp/ondanka/>

NPO法人セトラひろしま